

2019年
(令和元年)
November
11
(毎月1日発行)

リフォームで楽になる!
リフォームで楽しくなる!
リフォーム楽楽通信

発行
(株)リフォーム産業新聞社
本社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-1
TEL.03-6252-3450
FAX.03-6252-3461
暮らしをよくする、
専門メディア

キッチン 手洗いよりもきれいに洗える食洗機 ▶2
バス 浴室を暖めてヒートショックを防ぐ ▶3
インテリア 塗装仕上げの美しい部屋 ▶4

トイレ あれこれしまえる収納一体型トイレ ▶5
コラム わんにゃん図鑑「バグ」 ▶5
屋根・外壁 塗料の耐久性と特徴 ▶6

インテリア キッチンで家族がもっと仲良しに ▶7
インタビュー 茶の湯に学ぶおもてなしの空間づくり ▶8
堀 政孝さん



“茶の湯”に学ぶ ～おもてなしの空間づくり～

日本の古き良き伝統文化である茶道。「茶道で大切なのは、相手を想い心を通わせること」と茶道家元の堀さんはいう。茶室の設計・デザインも手掛ける堀さんに、自宅で手軽に取り入れられる茶室のつくり方を聞いた。

**客への心遣いがあれば
茶の空間はつくれる**

堀 茶道をしつらえてみたくても、マナー・タブーが多くて戻込みます。茶室を快適に過ごせるよう部屋を片付け、喜んでくれそうな掛け軸や花を用意する——。そんなひと時間を作りたい心があれば、たとえフローリングの部屋であっても茶の精神が生きたものなしの空間はつくれます。

堀 茶道というと作法ばかりにとらわれがちですが、芯にあるのは「客のことを一生懸命考える」精神です。これが快適に過ごせるよう部屋を片付け、喜んでくれそうな掛け軸や花を用意する——。そんなひと時間を作りたい心があれば、たとえフローリングの部屋であっても茶の精神が生きたものなしの空間はつくれます。

**客への心遣いがあれば
茶の空間はつくれる**

堀 茶道をしつらえてみたくても、マナー・タブーが多くて戻込みます。茶室を快適に過ごせるよう部屋を片付け、喜んでくれそうな掛け軸や花を用意する——。そんなひと時間を作りたい心があれば、たとえフローリングの部屋であっても茶の精神が生きたものなしの空間はつくれます。

大切なのは……相手を想う気持ち!!

堀 客のことを考えて用意されれば、畳敷きでなくともいいと私は思います。それよりも、「あの人は腰がよろしくないから椅子のほうが楽かしら」と、椅子とテーブルを用意するといった心遣いのほうがずっと大切。極端にいえば、お茶道具が一式揃っていないでもいいのです。自己顯示の場ではないので、お

大切なのは……相手を想う気持ち!!

堀 もちろん、マンションでも用意できますし、リビングの一角でもかもしれません。さらに、普段は別の用途でも使え、客を迎えるときに掛け軸と花を飾れば茶室としても使える、といった多目的空間にしておくと便利です。

大切なのは、掛け軸と花に自然に

リフォーム楽楽通信

茶室デザイン／一級建築士事務所代表

堀 政孝さん



堀 政孝 (ほり まさたか)

金をかけなくても工夫次第で、客が「素敵だな」と感じられる空間はつくれます。

金をかけなくても工夫次第で、客が「素敵だな」と感じられる空間はつくれます。

金をかけなくても工夫次第で、客が「素敵だな」と感じられる空間はつくれます。

金をかけなくても工夫次第で、客が「素敵だな」と感じられる空間はつ

アクセントクロスと照明で 床の間をつくる

——茶室の雰囲気を出すためにも「これだけは用意したい」という道具はありますか?

堀 茶道で重要なポイントとなる道具に掛け軸があります。掛け軸を飾ることで、客を迎える準備があることを示します。図柄は絵でも書でも大丈夫。季節や客の趣向に合ったものを選ぶとよいでしょう。

ほかには、空間にみずみずしさを醸し出してくれる花と、ちょっとしたお茶菓子があればひとまずは十分。こちらも、客の顔を思い浮かべながら用意すればきっと喜ばれます。

——掛け軸をかけるのなら、床の間は必要ですよね。

堀 あれはベストですが、なければ床の間として使う場所をつくればいいのです。一般的には空間を仕切るために木の柱を設置したりしますが、コストを抑えたい場合は、壁の1つの面にアクセントクロスを張ったり、パーテーションを置くなどして領域を分けるだけでもいいです。

——おもてなしの心が大切なんですね。

堀 目が向くように、余計なものを置きすぎないこと。

あとは客に気を遣わせないよう、茶室として使用する部屋の場所も考えましょう。たとえば奥まった部屋や2階だと、案内されている間、客は生活空間を見すぎてしまわないよう気にを遣います。できるだけ玄関から近い場所がいいでしょう。

——おもてなしの心が大切なんですね。

堀 逆にいうと、どんなに豪華なしつらえでも、客を想う気持ちが感じられない、ただの自己顯示になってしまい、客との距離は縮まりません。

——相手のことだけを考えて準備する時間も楽ししそうです。

堀 「喜んでくれるかな」とワクワクしながら掛け軸や花、お菓子を用意する。そんなふうに、迎える人のことだけを考えて空間をつくる時間は豊かなものです。



洋室を茶室にリフォームした事例。小さくても豊かな空間に